

・市では、警報や注意報、河川水位情報などをもとに、避難が必要な地域に、

レベル3 高齢者等避難

レベル4 避難指示

レベル5 緊急安全確保

などの避難情報を発令します。

避難情報が発令された場合は、すみやかに避難の行動をしてください。

ポイントは
色と数字

高潮

レベル5
氾濫特別警報

！危険な場所

レベル4
氾濫危険警報

・海岸沿いの
低いところ

レベル3
氾濫警報

・台風や発達した低気圧が近づくと、海水面が上がります。

レベル2
氾濫注意報

・広い範囲で海水に浸かるなど、大きな影響があります。

河川氾濫

レベル5
氾濫特別警報

！危険な場所

レベル4
氾濫危険警報

・一級河川荒川の
周辺
・堤防近く

レベル3
氾濫警報

・河川氾濫の注意報、警報や危険警報は、洪水予報河川のみ発表されます。市内では、一級河川荒川のみが対象となります。

レベル2
氾濫注意報

5月29日から

注意報・警報が新しくなります

問 総務課危機管理室 (☎53-3365)

気象庁が発表する注意報や警報。新たに「危険警報」ができるなど、運用が大きく変わります。ご自分のいる場所は、どんな危険があり、どの情報が重要か、確認しておきましょう。

土砂災害

レベル5
土砂災害特別警報

！危険な場所

レベル4
土砂災害危険警報

・崖のそば
・急傾斜地のそば
・溪流沿いなど

レベル3
土砂災害警報

土砂災害は、「土石流」「崖崩れ」「地すべり」など、斜面に近い所でおきます。発生すると大きな被害になります。

レベル2
土砂災害注意報

・土砂災害は急に発生することもありますので、悪化するのを待たずに、早めの避難を心がけましょう。
・避難が難しい時には、建物の高い所(2階など)で、崖から遠い所にいるなど、命を守る行動をしましょう。

大雨

レベル5
大雨特別警報

！危険な場所

レベル4
大雨危険警報

・平地や市街地
・水はけの悪い場所
・中小河川
・用水路など

レベル3
大雨警報

・雨が降り続いたり、ゲリラ豪雨のような猛烈な雨が降ると、雨の行き場がなくなります。

レベル2
大雨注意報

・道路や低い土地が水につかったり、用水路や小さい川があふれたりします。
・一級河川荒川以外の河川では、氾濫警報などではなく、大雨の警報として発表されます。

5月は「水防月間」です。大雨災害への備えや雨水対策を!

気温が上がり、雨の量が増える5月は、水防月間です。近年、大雨による大規模な自然災害が増えています。家庭でできる雨水対策に取り組んだり、自宅周りの側溝や排水溝を掃除しておいたり、身の回りの災害リスクを確認するなど、地域や家庭、個人で大雨に備えましょう。



家庭でできる浸水防止対策の一例



【水のうづくり】
ゴミ袋(45リットル)を二重にし、中に半分くらいの水を入れます。



【止水板の設置】
水のうと長めの板や止水板などを組み合わせて浸水を防ぎます。

【雨水貯留槽・浸透ますの設置、交換に使える補助金】

雨水貯留槽(雨水タンク)は、屋根に降った雨などを貯水槽にためることで、雨水が川や水路に流れ出すのを一時的に抑えます。たまった水は、庭木への散水や洗車など日常的にも使えるとともに、災害時には緊急用の水としても利用できます。

雨水貯留槽や地下浸透ますの設置や交換には、「村上市未来に向けた住まいづくり推進事業補助金」が利用できます。詳しくは、市のホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。

問 地域経済振興課経済振興室 (☎75-8942)

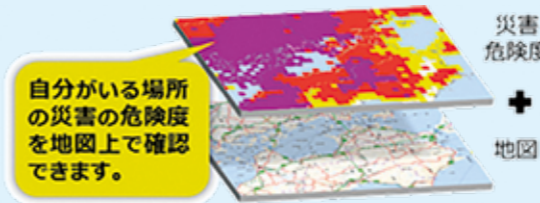


キキクル (危険度分布)

・キキクルは、地図上で危険な状況が色分けで分かるページです。気象警報などとあわせて確認し、避難タイミングの参考にしてください。



キキクル



自分がいる場所の災害の危険度を地図上で確認できます。

避難は「難」を「避ける」こと

・避難所に行くだけが避難ではありません。
◇安全な場所にある親戚や知り合いの家へ避難
◇災害の発生していない、しにくい地域に移動
◇どうしても逃げられなければ、一番安全な場所
・各家庭で大雨や地震の時など、どう行動をするかあらかじめ話し合っておきましょう。

